

旅行取扱状況の概観（令和 6 年 6 月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 119.9%、学生団体は同 88.2%、団体旅行合計では同 97.6%となった。企画旅行については前年比 93.3%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 93.4%と前年度を下回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 224.2%、学生団体は同 96.7%、団体旅行合計では同 198.6%となった。企画旅行については前年比 228.5%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 186.2%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 89.1%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 6 月の総取扱額は、前年比 103.7%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、職場旅行および企業系コンベンションの取扱いが増加し、一般団体は 119.9%と前年度を上回った。

学生団体は各種スポーツ大会の宿泊等の手配や宿泊型校外研修などが増加しているものの、修学旅行の取扱いが減少し学生団体旅行合計で 88.2%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 93.3%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、人気のエリアである東京や関西方面、テーマパーク商品が低調であったため前年比 80.4%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）は、北海道の花の名所、利尻島・礼文島を周るコースや、尾瀬や奥入瀬溪流のハイキングコースが取扱額を押し上げたものの、前年比 96.0%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 93.4%となった。

2. 海外旅行

海外団体では、報奨旅行や職場旅行の取扱いが増加し、また、当社主催イベント「まつりインハワイ」の開催があり、前年比 224.2%となった。

学生団体の取扱件数は増加しているものの、取扱人数が減少し、前年比 96.7%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 198.6%となった。

海外企画旅行については、前年比 228.5%となった。海外自社企画（フリー型商品）ではテーマパークのセット型商品が引き続き好調に推移し、前年比 117.4%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比 231.0%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 186.2%となった。

3. 訪日旅行

団体旅行では外国船クルーズの日本寄港地ツアーの取扱いや、個人旅行では訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が引き続き堅調であったものの、JAPAN RAIL PASS の取扱額減少が影響し、前年比 89.1%となった。